

精神医療の将来像と具体的方策（これまでの議論の整理）

第4回 長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策に係る検討会作業チーム

平成26年5月29日（木）

資料2

＜将来像＞

- ◇ 長期入院者の地域移行を進めることにより、精神病床を適正化し、不必要となる病床を削減。
- ◇ 併せて、その資源を急性期・回復期病床や地域医療等、必要な医療に集約することにより、良質かつ適切な医療の体制を実現。

＜将来像実現のために必要な具体的方策＞

- ①前提として、患者本人に対する支援（退院意欲の喚起、本人意向に沿った移行支援、地域生活支援）を徹底して実施
- ②地域生活を支える医療の充実を図るため、病院が病床削減を含む構造改革を実施
※財政的な方策や病床削減を伴う病院資源の活用方策等を検討

